新潟県自殺予防教育プログラム（高等学校編）

ＳＯＳの出し方に関する授業 Vol.２　学習指導案（高等学校編）

１　ね ら い：・ロールプレイをとおして共感的に聴いてもらう良さを体験し、共感的にかかわろうとする。

・自分が相談を受けた場合、大人に伝えた方が良い状況について考えることをとおし

て、自分だけで抱えきれない相談を受けた場合の対処方法を理解する。

２　対　　象：高校２年生

３　使用教材：□ワークシート（ワーク①③） 　　 □教材動画

　　　　　　　□授業内アンケート（ワーク②） □相談窓口一覧

　　　　□掲示用資料「学習課題」「授業の流れ」「ロールプレイのやり方」「ロールプレイのポイント」

　　　　　　　□相談に関する１分間アンケート（授業の前日までと、翌日以降の２回実施）

４　評価規準：共感的にかかわろうとする意識が高まった。

　　　　　　　友人のＳＯＳに気付いたときの対処方法について理解できた。

５　本時の流れ：50分

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | 指導上の留意点等 |
| 授業前日  まで | ※心身の不調を抱えているなど、配慮の必要な生徒には、あらかじめ授業に参加できそうか確認し、必要な対応を行う。 | |
| 導入  ２分 | １ 本時の学習課題と流れを確認する。  学習課題　上手な相談の受け方を考えよう。      流れ  １　ワーク①　共感的な聴き方  ２　前半の動画  ３　ワーク②　抱え込まないために  ４　後半の動画  ５　ワーク③　相談を受けたら  ６　まとめ | 準備  ・本時の学習課題と流れを掲示しておく。  ・机を合わせてグループにしておく。  　（グループは４人程度が望ましい）  **a**前年度実施したＳＯＳの出し方に関する授業を振り返ったうえで、学習課題と流れを示し、すぐに展開１に入る。 |
| 展開１  14分 | ２　ワーク①  　共感的な聴き方を体験する。  ・個人でシナリオを黙読する。（１分間）  **b** ペアになり、ロールプレイを行う。  役を交代して再度実施する。（２分間）   1. Ｂさんの役を演じたとき、Ａさんのどんなところが良かったと思いましたか。また、それはどうしてだと思いますか。気付いたことを書きましょう。   **c** 個人でワークシートに記入する。（３分間）  **d** グループ内で発表する。（３分間）  **e** 学級で共有する。（４分間）  （４～５グループが発表した後、出ていない答えを各班１つずつ発表する。） | ・掲示用資料「ロールプレイのやり方」、「ロールプレイのポイント」を掲示する。  ・サブティーチャーは意見を板書する。  **f** 共有された意見を踏まえ、動画の視聴に移る。 |

指導言

（ゴシック体はできる限り文言どおり話してください。）

|  |  |
| --- | --- |
| 例a | 「昨年度のＳＯＳの出し方に関する授業では、困ったときや悩んだときは、相談すると良いということを学び、誰に相談するか考えてもらいました。」  「悩んだときには、友だち同士で相談することも多いと思います。皆さんは友だちから悩みを打ち明けられたとき、どのように相談に乗っていますか？また、自分がうまく相談に乗れたか心配になることもあるのではないでしょうか。今回の授業では、上手な相談の受け方について、一緒に考えていきます。流れはこのとおりです。」 |

|  |  |
| --- | --- |
| 例b | 「相談場面を体験します。２人１組で、ワークシート①のロールプレイを行います。まずは１分間で、セリフを静かに読んでください。」  （ワーク①の◆を読み上げて指示した後）「ポイントは、『なりきって真剣に』『ゆっくりと話して』『どのような気持ちか考える』です。特に、Ｂさんを演じたときの気持ちに意識を向けてみてください。時間は２分間です。役の順番を決めて、始めてください。」 |
| 例c | 「Ｂさん役を演じて、Ａさんの聴き方について良かったと思うところがあったのではないでしょうか。いくつでも良いので、理由を含めてワークシートに記入してください。時間は３分間です。」 |
| 例d | 「グループ内で時計回りに発表してください。正解・不正解はありませんので、他の人の発表の際は、意見を受け止めるように聞いてください。時間は３分間です。始めてください。」 |
| 例e | 「いくつかのグループから発表してもらいます。」（５グループ程度）  「うんうん、○○○○。（生徒の発表を繰り返す）」  「なるほど、確かにそうですね。（肯定的な言葉を返す）」  「拍手しましょう。（発表者への拍手を促す）」  「他の意見が出たグループはありますか？（自主的な発言を促す）」 |
| 例f | 「グループワークは終わりです。机を元に戻してください。」  「（板書から）○○を良いと感じた人が多いようですね。○○という意見もありました。皆さん、よく考えてくれたと思います。それでは、これを踏まえて前半の動画を観ます。」 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | 指導上の留意点等 |
| 展開２  ６分 | ３ 前半の教材動画を観る。 | ・サブティーチャーが動画を再生する。  ・メインティーチャーは生徒の様子に心配  　な反応がないか観察し、心配な様子が見  られた生徒にはそっと声を掛ける。 |
| 展開３  13分 | ４ ワーク②  抱え込まない方がよい相談について考える。   1. 友だちから相談を受けた時、大人に伝えた方が良いケースについて考えよう。   **g** 個人で、大人に伝えることを考える必要があるものをチェックし、チェックした、あるいはしなかった理由を記入する。（５分間）  ・授業者による発表で、他の人の考えを 聞き、多様な考え方に触れる。（４分間） | ・「授業内アンケート」を配付する。  ・記入後に集めて学級で意見を共有するが、氏名は出さないので、安心して取り組んでもらいたいと説明する。  **h** 「授業内アンケート」を他の生徒から見られないように工夫して回収し、発表する。この際、用紙の裏から氏名が透けて見えないように留意する。 |
| 展開４  ５分 | ５ 後半の教材動画を観る。 | ・前半の動画と同様  **i** 視聴後、友だちから相談を受けたら大人にも相談してほしい願いを伝える。 |
| まとめ  10分 | ６ メインティーチャー、サブティーチャー等からの話（まとめ）を聞く。  ７ ワーク③  学んだことを振り返る。   1. 友だちから深刻な悩みを相談されたら、どんな対応を心掛けたいですか？ その理由も書きましょう。   ・個人でワークシートに記入する。（４分間）  ・相談窓口一覧を受け取り、説明を聞く。  ・ワークシートを提出する。  ※ 可能であれば「相談に関する１分間アンケート」を実施し、生徒の実態を把握し、生徒理解やＳＯＳの声の確認に活用する。事前に同様のアンケートを実施することで生徒の変容を確認することもできる。 | **j** 授業のねらいを確認したり、共感的なかかわりにより教師自身もほっとできた体験などを伝えたりする。  ※話し合いや共有は行わない。  ・ワークシートやアンケートは他の生徒から見られないよう、工夫して回収する。  ・授業後に全員分の記述を確認し、今後の指導に生かす。  ※必ず回収日のうちに内容を確認し、ＳＯＳの声が書かれているか確認する。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 例g | 「ワーク②は授業内アンケートを行います。このアンケートは記入後に集めて、どのような回答があったかクラスで共有しますが、氏名は出しません。安心して、率直な意見を書いてください。」 （ワーク②の◆を読み上げて指示する） 「実際に自分がどうするか、どうできるかではなく、どうした方が良いかで考えてください。時間は５分間です。」 |
| 例h | 「皆さんの回答を発表します。皆さんはワークシートの②を見ながら聞いてください。(1)については、○○（生徒の回答から５つぐらい）。　次に(2)は・・・。」 ※様々な意見をバランスよく、授業のねらいに沿って選択する。 　メインティーチャーとサブティーチャーで、アンケート用紙を半分ずつ分担する。  「それではここで後半の動画を観てみましょう。」 |

|  |  |
| --- | --- |
| 例i | 「動画にもあったように、①命にかかわると思われる場合、②いじめや犯罪に巻き込まれている場合、③相談を受けたあなた自身が精神的に不安定になる場合は、大人に相談してもらいたいと思います。それが危険から友だちを守ることにつながります。友だちに心配なことがあったら、抱え込まずに話してください。」 |
| 例j | 「今日はまず、ロールプレイで共感的に聴くことを体験しました。この体験を活かして、相手の気持ちを想像しながら話を聴くことを意識してもらえると嬉しいです。もちろん、うまく相談に乗ってあげられないこともあると思います。先生だってうまく相談に乗れないこともあります。大切なことは、優しさと思いやりを持って接すること、そして、相手から『相談して良かった』と思ってもらえることです。」  「授業の後半では、相談を受けたとき、大人に伝えた方が良い状況について考えてもらいました。悩んでいる人や相談を受けた人は当事者なので、冷静に判断することが難しくなるものです。これは危険かもしれないと思ったり、自分たちだけでは解決が難しいと思ったりしたときは、友だちと一緒に、先生のところに相談に来てください。進路や学習以外の悩みでも、相談してください。」 |

※１　ワーク①のロールプレイについて

・安全に共感的な聴き方を体験できるよう、セリフの決まったワークになっているが、生徒の実態に合わせて生徒自身のオリジナルの回答を考えさせても良い。

・ロールプレイ前に、授業者によるデモンストレーションを示すと、言葉以外のポイントを伝えられる。

・３人グループで実施し、観察者役を設定すると、学びを深める機会が作れる。

・共有された意見を意識しながら、もう一度実施しても良い。前半の動画を視聴した後でも効果的である。

※２　ワーク②について

　・ＩＣＴを活用する場合も、生徒の安心・安全を守るため、誰の回答か分からないように留意する。